

令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：東京急行電鉄株式会社・宮古観光開発株式会社・宮古島市

協定締結日：2013年2月15日

活動状況：継続中

連携先窓口：

東急電鉄： 松永 多賀子様 東急(株) リゾート事業企画担当

宮古観光開発： 三浦寛之様(支配人)・奥平和成様

宮古島市： 担当者不在

活動資金：大学予算

*必要な場合があれば農場プロジェクト費から支出。大学から決まった予算は支給されていない。

担当教員(所属)：菊野日出彦(宮古亜熱帯農場)

活動体制(単位)：大学

*対応は大学、宮古亜熱帯農場となっているが、実質菊野が担当している。

関連教員(所属)：なし

活動目的：産官学が共同して、それぞれが持つ資源を活用し、宮古島の農業および農業関連産業を推進し、相互に協力しあい、地域の発展に貢献することを目的としている。

活動内容・成果：

*東京農業大学の実習に係る学生の宮古観光開発の熱帯果樹園(まいばり)の視察受け入れ

国際農業開発学科(約150名)・国際食農科学科(約40名)

*ヤムイモの共同出荷(沖縄青果市場)

*ヤムイモ焼酎の販売促進

課題・改善点：

*現時点では宮古観光開発と相互に必要なことについて協力しているが、宮古島市との連携が不足している。市側に担当者がいないことも問題だと思う。大学の上層部で決めた連携であるので、各組織の代表者どうしても交流があれば連携に弾みがつくと思う。

*宮古島市とは産官学の連携ではないが、産業振興局と循環型経済システムの構築事業で相談を受ける。宮古島市の予算で国際食農科学科の大久保健司先生が3月に来島。今後宮古島市と協議し、何らかの連携事業ができないか協議中。



(ヤムイモの共同出荷)



(島キウイの果実)